

謹弔

次の会員がご逝去なさいました。謹んで哀悼の意を表します。

戸田智博氏	防府医師会	10月27日	享年89
平野東光氏	下関市医師会	10月29日	享年90
岡谷照太氏	徳山医師会	11月7日	享年88

編集後記

テレビやネットをぼんやり眺めていると、最近、「鬼滅の刃^{きめつ やいば}」というマンガが大人気らしい。

週刊少年ジャンプに連載されていたマンガで、この原稿を書いている時点で単行本22巻まで発売されている。シリーズ累計発行部数はすでに1億部を超えており、とんでもなく売れているようだ。ちょっとだけ調べてみたところ、週刊少年ジャンプの2016年11号から2020年24号(2016年2月15日から2020年5月18日)まで連載された作品だそうで、驚いたのは人気絶頂期なのに、連載終了となっていることである(人気長寿マンガの中には、ピーク時にはめっちゃくちゃ面白くても次第にネタ切れ状態となってきて、雑誌の売り上げのためにとしか思えない感じでダラダラ延命されて、とても残念な作品に変わり果ててしまう例も結構たくさんある)。

マンガは自分的にかなり好きなジャンルの一つなので、この「鬼滅の刃」に非常に興味を持ち、編集後記に間に合うように、単行本全巻読んでみようかと思ったが、結局、時間切れで断念した。週刊少年ジャンプの代表作と言えば、ワンピース、ドラゴンボール、北斗の拳、SLAM DUNK、ナルト、シティーハンター、Dr. スランプ、キン肉マン、3年奇面組、キャプテン翼、こちら葛飾区亀有公園前派出所、きまぐれオレンジ☆ロードなどなど、だろうか。日本歴代最高部数(公称発行部数653万部)となった週刊少年ジャンプ1995年3・4合併号発売当時、すなわちジャンプの全盛期に、毎週購読していた世代の一人として、自分史上No.1のマンガは、「ジョジョの奇妙な冒険」の第1～3部である。

マンガの難しい点は、どんなに世間で売れているマンガでも、自分にとって「ハマる」かどうかは、読みはじめてみないと全くわからないことである。単行本の歴代最高発行部数を誇る、先ほどの「ワンピース」というマンガがあるのだが、読み始めてすぐに「これは自分には合わないわ」と思い、1巻も読み切れなかった。ただ、よく考えたら少年ジャンプの編集部は、対象年齢を小中学生としている(ウィキペディアで調べた)のであった。面白く感じられなかったのも当たり前か。もっと若いころに読んでいたらドつぼにはまっていたかもしれない。面白さがわからないオッサンになってしまった自分が逆にちょっと残念だった。

マンガについては、もうちょっと書きたいことがあるので、また何かの機会にでも書かせていただきたい。

(理事 藤原 崇)